

た離れた場所に住む子ども達も、この支援が受けられるように、今後は、市内8地区での実施を検討するよう要望しました。

こども未来部

*子どもの未来応援事業

Q 市内の子どもの生活実態調査は、どのような方法で行うのか。

A 小学5年生、中学2年生の児童生徒とその保護者の中からそれぞれ1,000名ずつ、合計4,000名を対象としたアンケート調査を業務委託により行う。委託業者については、プロポーザル方式による選定を考慮しており、このアンケート結果をもとに、子どもの貧困問題への対応策を講じていく。

農林水産部

*市有林経営事業

Q 本事業における「市有林調査業務委託」の目的について尋ねる。

A 市有林の現況を確認し、個々の森林の特性にあった整備方針を作成するための調査を長崎南部森林組合に委託する。さらに、この業務を通じて同組合の職員を、森林経営のエキスパートである「森林

施業プランナー」として育成し、森林の整備促進につなげるものである。

商工観光部

*地域公共交通確保維持改善事業

Q 荒平・水計地区で導入予定のデマンドタクシーは、どのような利用方法となるのか。

A 以前は、前日までの予約が必要と説明をしていたが、当日の予約でも利用できるようにした。また、乗り合いタクシーであるため、予約した人以外でも、路線の途中から乗りすることが出来る。

市民環境部

*野良猫対策事業

Q 飼い猫と野良猫の識別方法はどうに行うのか。

A 申請者には飼い猫ではない旨等を記載した誓約書を市に提出してもらうことになるが、市としても申請書や誓約書の内容に相違はないか、現地で聞き取り調査を行うとともに、その地域住民に対し、去勢等を行うため捕獲する旨の周知を図る。なお、去勢等の処置を終えた野良猫については、耳の一部をカットし、処置されたものと分かるようにする。

都市整備部

*新幹線新大村駅（仮称）周辺整備事業

新幹線新大村駅（仮称）周辺整備に伴う県立ろう学校の移転に関し、現ろう学校の解体工事については、市内業者ができるだけ優先的に受注できるように、県と交渉するよう要望しました。

平成29年度の

主な新規事業

▼地域連携ポイント構築事業

：441万8,000円

市内の公共施設や民間の店舗で共通して使用できるポイント制度を構築し、地域経済の活性化を図る。平成29年度は、ポイント制度導入に向け、調査研究を行う。



▼地域公共交通確保維持改善事業

：1,201万7,000円

交通空白地域の解消を図るため、松原・福重地区、荒平・水計地区で乗り合いタクシーやデマンドタクシーの実証運行を行う。



▼野良猫対策事業

：142万9,000円

猫の殺処分を減少させることを目的として、繁殖を抑制するために、野良猫に対して行う不妊・去勢手術の費用を全額助成する。

